



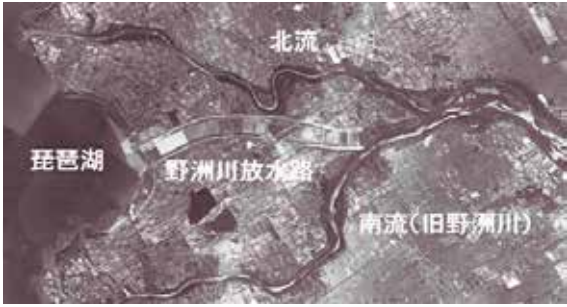
現在の野洲川が通水してから40周年を迎えました。本シリーズでは、市民に親しまれる現在の野洲川ができるまでの歴史を振り返ります。

**流々大河③**  
**世紀の大工事、8年の歳月を経て完成**

用地問題や移転先などについて何回もの話し合いを経て、昭和46年12月9日に改修工事が開始されました。当初、昭和28年の台風による出水量2,600m<sup>3</sup>/sを計画流量として、河道の計画がされていましたが、昭和40年の台風24号で再び2,600m<sup>3</sup>/sに近い出水を記録し、今浜町の大川橋が流出し一部集落が孤立したのをはじめ、各所に水害をもたらしました。

これを受けて計画の見直しが行われ、100年に1度起こりえる大洪水を対象に4,500m<sup>3</sup>/sの河道を建設することになりました。

服部遺跡の出土などもあり8年の歳月がかかった大工事は、昭和54年6月2日に通水式を迎えました。通水式では、川底の乾いた砂を見せる放水路に向かって3本の金の矢が放たれると同時にサイレンが鳴り、2台のブルドーザーが締切堤を切り崩したその瞬間、多くの人々が見守るなか、南流と北流に代わる新しい野洲川に水が流れ始めました。



昭和50年ごろの野洲川(国土交通省より提供)



新しい野洲川に流れ出した一番水

## あなたも統計調査員になりませんか

図公文書館 ☎・☎(514)1050 FAX(514)1051

### 統計調査員とは

総務大臣や県知事から任命される非常勤公務員で、国勢調査などの国や県が実施する各種統計調査を行う人のことです。各種調査が行われるときには、事前に登録された名簿の中から調査ごとに統計調査員が任命されます。任命期間は約2ヵ月間程度です。

また、統計調査で知ったことについては守秘義務が課されます。

### どんな人が統計調査員になれるのか

市内在住の20歳以上の人で、次の全ての要件を満たす人です。

- 税務、警察および選挙と直接関係がない人
- 暴力団員、反社会勢力に該当しない人
- 守秘義務を守り、責任を持って調査を遂行できる人

### 統計調査員になるには

公文書館で登録カードの記入と簡単な面談を行い、登録名簿に登録してください。その後、調査ごとに統計調査員に任命されます。

### 現役統計調査員の声

統計調査員3年目

たかはし まいこ  
高橋 真以子さん

最初のうちは緊張や遠慮があり、うまく説明できなくて困ったこともありましたが、回数を重ねていくにつれ、統計調査の最前線でとても大切な仕事をしているというやりがいを感じられるようになりました。

統計調査員の仕事は、時間の拘束も少なく、空いている時間を有効活用することができます。そのため子育てや家事も無理なく両立できると思います。

